



Title	大阪大学 日本学報 第43-44号 表紙／目次
Author(s)	
Citation	日本学報. 2025, 43-44
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/101366
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

March 2025

ISSN0286-4207

INSTITUTE OF CONTEMPORARY JAPANESE STUDIES
GRADUATE SCHOOL OF HUMANITIES
OSAKA UNIVERSITY

大阪大学 日本学報

[特集：SHARED AUTHORITY ―歴史を描くのは誰か―]

特集にあたって―SHARED AUTHORITY ―歴史を描くのは誰か―	安岡 健一
From “A Shared Authority” to “A Shared AI-thority: A Paradigm Shift for Oral and Public History?”	マイケル・フリッシュ
けっして手放さない―「共有されたオーソリティ」の困難さと向き合うこと―	菅 豊
日本のDigital Humanitiesのこれまでとこれから―Shared Authorityの問題に寄せて―	菊池 信彦
Authorityを委ね合う―「ひきこもり」のライフストーリー研究を通して―	石川 良子
動的プロセスとしての“Shared Authority” ―理念から実践へ―	五月女 賢司

[卒業論文]

日中戦争・アジア太平洋戦争期における女学生の銃後後援活動 ―慰問袋を事例に―	角田 実玲
---	-------

[卒業論文・要旨]

女性アスリート・人見絹枝の自己像の揺らぎ ―表象をめぐるせめぎ合いを中心に―	草替 春那
---	-------

[対話と方法]

2023年安岡ゼミ修学旅行の報告 ―飯田・下伊那地域での出会いと学び―	上垣 皓太郎・松江 彩花・草替 春那・野村 琴未・平井 彩翔
--	--------------------------------

No. 43-44 March 2025

目次

大阪大学
日本学報

【特集:SHARED AUTHORITY ―歴史を描くのは誰か―】

特集にあたって

―SHARED AUTHORITY ―歴史を描くのは誰か― 安岡 健一……………3

From “A Shared Authority” to “A Shared AI-thority”

: A Paradigm Shift for Oral and Public History? マイケル・フリッシュ……………6

けっして手放さない

―「共有されたオーソリティ」の困難さと向き合うこと― 菅 豊……………18

日本の Digital Humanities のこれまでとこれから

―Shared Authority の問題に寄せて― 菊池 信彦……………32

Authority を委ね合う

―「ひきこもり」のライフストーリー研究を通して― 石川 良子……………44

動的プロセスとしての“Shared Authority”

―理念から実践へ― 五月女 賢司……………53

【卒業論文】

日中戦争・アジア太平洋戦争期における女学生の銃後後援活動

―慰問袋を事例に― 角田 実玲……………58

【卒業論文・要旨】

女性アスリート・人見絹枝の自己像の揺らぎ

―表象をめぐるせめぎ合いを中心に― 草替 春那……………103

【対話と方法】

2023 年安岡ゼミ修学旅行の報告

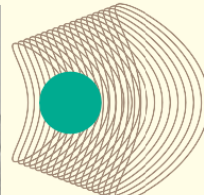
―飯田・下伊那地域での出会いと学び― 上垣 皓太朗・松江 彩花・草替 春那・

野村 琴未・平井 彩翔……………104

program

10:00-10:10 開会の挨拶 宇野田尚哉 (大阪大学グローバル日本学教育研究拠点・副拠点長)
10:10-10:20 趣旨説明 安岡健一 (大阪大学・准教授)

10:20-11:20 **第1部** キーノート・スピーチ
講演者 マイケル・フリッツシュ (バップアロー大学・名誉教授)
演題 From "A Shared Authority" to "A Shared AI-thority":
A Paradigm Shift for Oral and Public History?
司会 福島幸宏 (慶應義塾大学・准教授)



12:15-13:30 〈休憩〉

13:30-16:25 **第2部** パネルセッション
趣旨説明 安岡健一 (大阪大学・准教授)

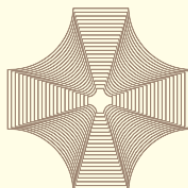
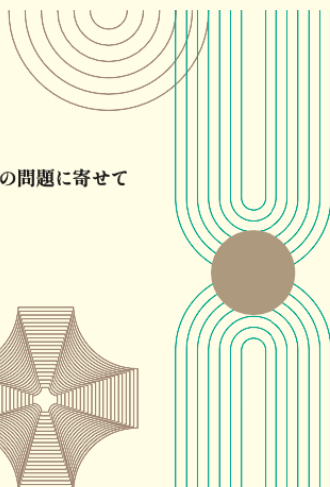
パネリスト

- 菅豊 (東京大学・教授)
決して手放さない: 「共有されたオーソリティ」の困難さと向き合うこと
- 菊池信彦 (国文学研究資料館・准教授)
日本のDigital Humanitiesのこれまでとこれから: Shared Authorityの問題に寄せて
- 石川良子 (立教大学・教授)
Authorityを委ね合う: 「ひきこもり」のライフストーリー研究を通して

ディスカッサント

五月女賢司 (大阪国際大学・准教授)

16:25-16:30 閉会の挨拶 岩井茂樹 (大阪大学グローバル日本学教育研究拠点・副拠点長)



SHARED AUTHORITY: 歴史を描くのは誰か

国際シンポジウム

2024年 8月24日 [土] 10:00-16:30

大阪大学箕面キャンパス外国学研究講義棟1階外大記念ホール

<https://www.osaka-u.ac.jp/ja/access/top>

主催= 大阪大学グローバル日本学教育研究拠点

共催= 「国際日本研究」コンソーシアム

大阪大学グローバル日本学教育研究拠点・拠点形成プロジェクト「オーラルヒストリー資料の保存・公開・活用に関する共同研究」

後援= 日本デジタルヒューマニティーズ学会/情報処理学会人文科学とコンピュータ研究会

日本オーラル・ヒストリー学会/パブリックヒストリー研究会

国文学研究資料館古典籍データ駆動研究センター

お問い合わせ gjs@ml.office.osaka-u.ac.jp

登録締切

日本時間 8月21日 [水] 15:00 JSTまで

本研究は「令和6(2024)年度「国際日本研究」コンソーシアム事業」の助成を受けたものです。
This work was subsidized by the Consortium for Global Japanese Studies in FY 2024.

https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_oRMAWeHzQqe4HGyS-do-Zg

ウェビナー
参加登録

